

社会資本整備審議会 道路分科会 第18回北海道地方小委員会

議事概要

1. 日 時 平成30年12月26日(水) 10時00分～12時00分

2. 場 所 TKPカンファレンスセンター カンファレンスルーム2B
(札幌市北区北7条西2丁目9)

3. 出席者

[委員長]

田村 亨 北海商科大学 教授

[委員]

加藤 由紀子 北海商科大学 教授

島本 和明 日本医療大学 総長

菅井 貴子 気象防災キャスター

高橋 清 北見工業大学 教授

永田 正記 北海道商工会議所連合会 副会頭

平岡 祥孝 札幌大谷大学 教授

山崎 幹根 北海道大学大学院 教授

4. 議 事

○計画段階評価について 北海道横断自動車道網走線 端野～高野 第3回目

【委員からの主な意見】

- ・【案②】別線・アクセス配慮ルートは、拠点間のアクセス性だけでなく、各方面への周遊性にも配慮されており、地域が望むルートとなっている。
- ・地域振興の観点で現道の交通量減少による商店等への影響を懸念する意見がある。
⇒周遊性にも配慮したルート選定を行っているが、今後も地域とのコミュニケーションをしっかりと図りながら進めていきたい(事務局)。
- ・地吹雪多発箇所の回避について、山沿いの谷地形では吹雪が発生しやすいのではないか。
⇒別線整備時には現道の地吹雪多発箇所を回避するとともに、既存の樹林帯を活用することや、盛土構造による堆雪の低減等を図っていきたい(事務局)。

【委員長による総括】

- ・対応方針(案)については【案②】別線・アクセス配慮ルートで了承。

○その他

【委員からの主な意見】

- ・北海道は全国に比べて高規格幹線道路の整備率が低いが、地域医療の観点でも高規格幹線道路の整備が非常に重要であり、本取組みを踏まえ、整備の必要性を説明していくことが重要。
- ・訪日外国人旅行者数の約1割が北海道を訪れている状況であり、受け入れ体制の確保が急務。
- ・道の駅等は交通結節点だけでなく、地域のコミュニティ活動の拠点としても重要な機能を有しており、地方部の日常生活に必要な拠点機能の確保という視点は重要。